

2012年2月期(第30期) 第2四半期決算説明会

ソーバル株式会社

大阪証券取引所(JASDAQ市場)

証券番号:2186

平成23年10月5日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数:14ページ

1. 2012年2月期第2四半期の概要

- 1-1. 総括ハイライト
- 1-2. 業績サマリー
- 1-3. 財政状態、キャッシュフロー
- 1-4. 営業利益増減分析
- 1-5. 構成比率（セグメント／主要顧客）

2. 2012年2月期通期の見通しと戦略

- 2-1. 見通しと業績予想
- 2-2. 配当予想
- 2-3. 中長期の戦略
- 2-4. 中長期成長に向けて

1. 2012年2月期 業績の概要

1-1. 総括ハイライト

1-2. 業績サマリー

1-3. 財政状態、キャッシュフロー

1-4. 営業利益の増減分析

1-5. 構成比率（セグメント／主要顧客）

- Point1 東日本大震災による影響小
- Point2 新規受注増加による待機工数減
- Point3 株主優待開始、新規事業の積極推進



プレスリリース 2011/6/10 16:00
株主優待制度開始
プレスリリース 2011/ 9/ 7 11:00
Webサービス『読書ログ』β版公開

ほぼ予想通りの売上・利益で着地

1. サマータイム、ノー残等で売上減予想も早期人員配置見直しで減少幅小
2. キヤノンGは順調、ソニーGは後半受注伸、その他新規顧客受注増
3. RFIDは人材削減後も安定収益キープ、その他新規事業も順調

(百万円)

科目	2011年 2月期 2Q	2012年2月期					
		2Q実績	2Q 期初予算	達成率		通期 予想	達成率
売上高	2,897	2,971	2,991		99%	6,255	 47.5%
営業利益	94	149	126		118%	270	 55.2%
経常利益	101	151	127		119%	270	 55.9%
当期純利益	54	81	78		104%	163	 49.7%

※ 2012年2月期(第30期)より連結のため、2011年2月期(第29期)は単体の数値。

2011年3月に完全子会社化したコアードは、ほぼ予算通り。
連結の数値に影響なしで、全体的として順調推移。

財政状態

科目	2011年 2月期 2Q	2011年 2月期	2012年 2月期 2Q
総資産	2,312 百万円	2,472 百万円	2,513  百万円
純資産	1,833 百万円	1,887 百万円	1,947  百万円
自己資本 比率	79.3%	76.4%	77.5% 
1株当たり 純資産	844.05 円 銭	869.25 円 銭	896.55  円 銭

自己資本比率は、前事業年度末より
 やや増加し、高い比率を維持。
 1株当たり当期純利益も順調に推移。

キャッシュフロー

(百万円)

科目	2011年 2月期 2Q	2011年 2月期	2012年 2月期 2Q
営業活動による CF	209	344	△58
投資活動による CF	△12	△16	32
財務活動による CF	△0	△15	△21
期末残高	1,100	1,216	1,169

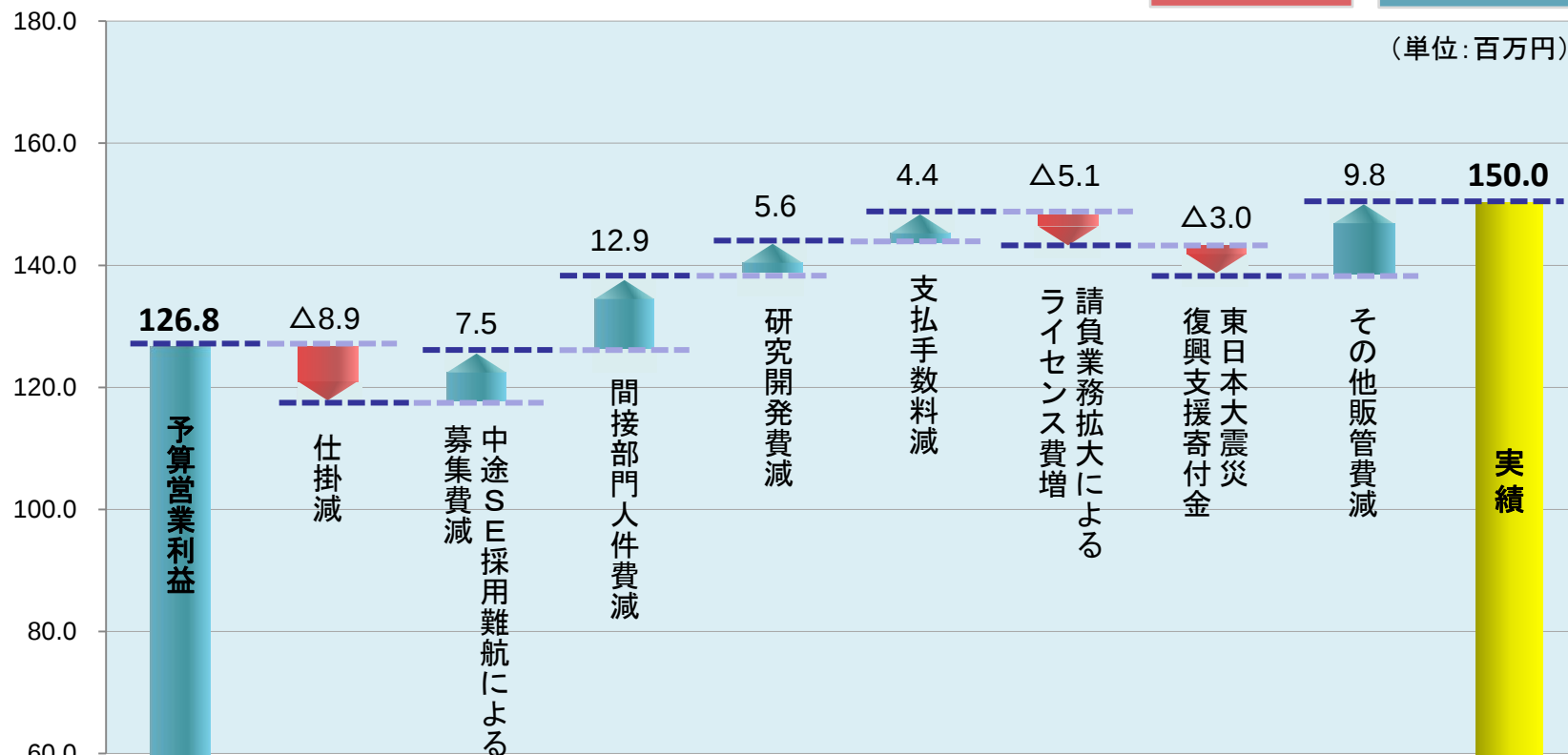
キャッシュフローは、営業活動CFが法人
 税等の支払174百万円、たな卸資産の
 増加58百万円などの資金減少要因と
 税金等調整前四半期純利益144百万円
 の計上などの資金増加要因により、
 前事業年度末比47百万円の減少。

営業利益の増減分析

対予算営業利益差額要因

減益要因
△17.0

増益要因
40.2



※ 単体の数値分析

- 特定派遣増加により、仕掛減
- 人員配置見直しで研究開発費・間接部門費減
- 採用難航により、募集費減

ほぼ予算通りに着地

構成比率(セグメント／主要顧客)

構成比率	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期 2Q
特定派遣	65.0%	62.5%	65.3%
業務請負	33.7%	36.2%	32.5%
その他事業 (RFID等)	1.3%	1.3%	2.2%

震災売上減対策により、特定派遣の割合が上昇。それに伴い、業務請負の比率減。

構成比率	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期 2Q
キヤノン株式会社	74.1%	76.2%	72.7%
キヤノングループ	1.9%	2.9%	3.1%
ソニー株式会社	14.1%	8.7%	6.3%
その他	9.9%	12.2%	17.9%

コアードの売上によりその他の割合が増加。キヤノン様の比率減少はその他の割合増加によるもので売上額は、ほぼ変わらず。

2. 2012年2月期（第30期）の見通しと戦略

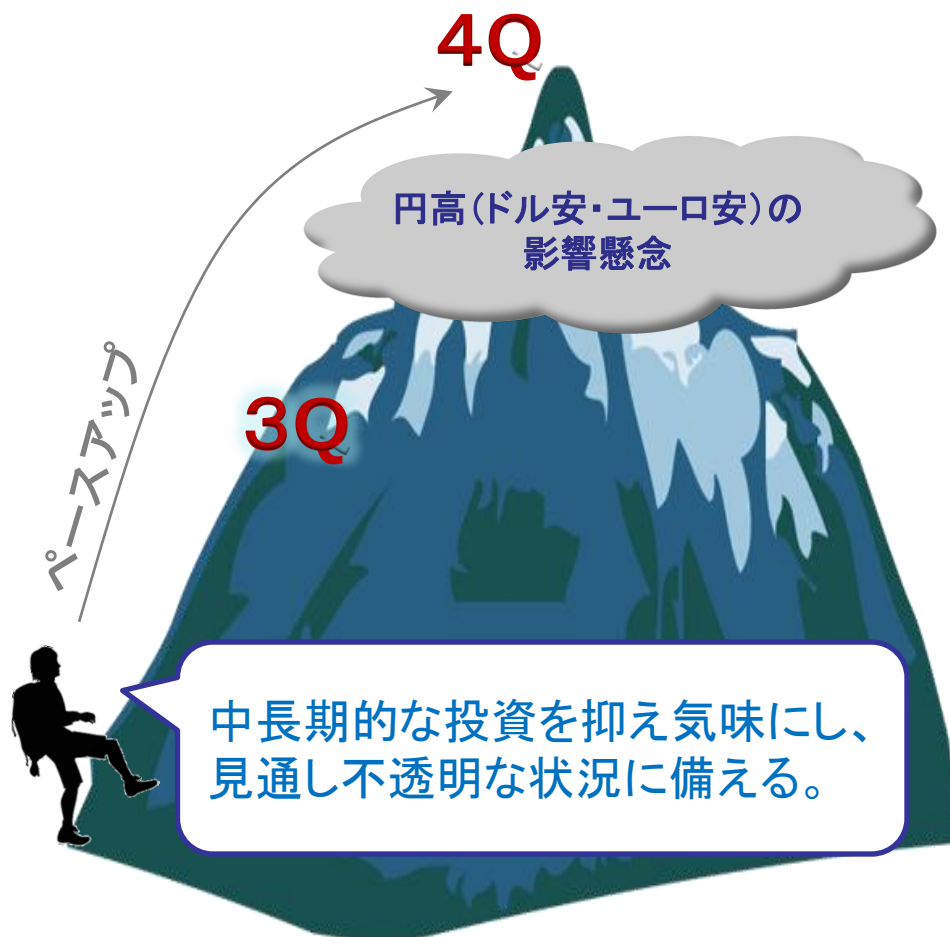
2-1. 見通しと業績予想

2-2. 配当予想

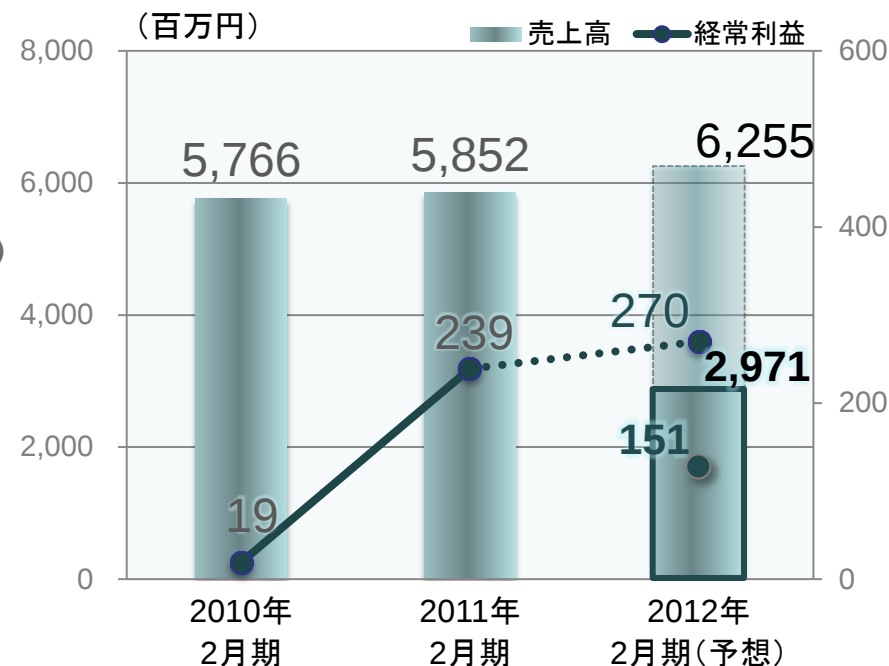
2-3. 中長期の戦略

2-4. 中長期成長に向けて

下期の見通し

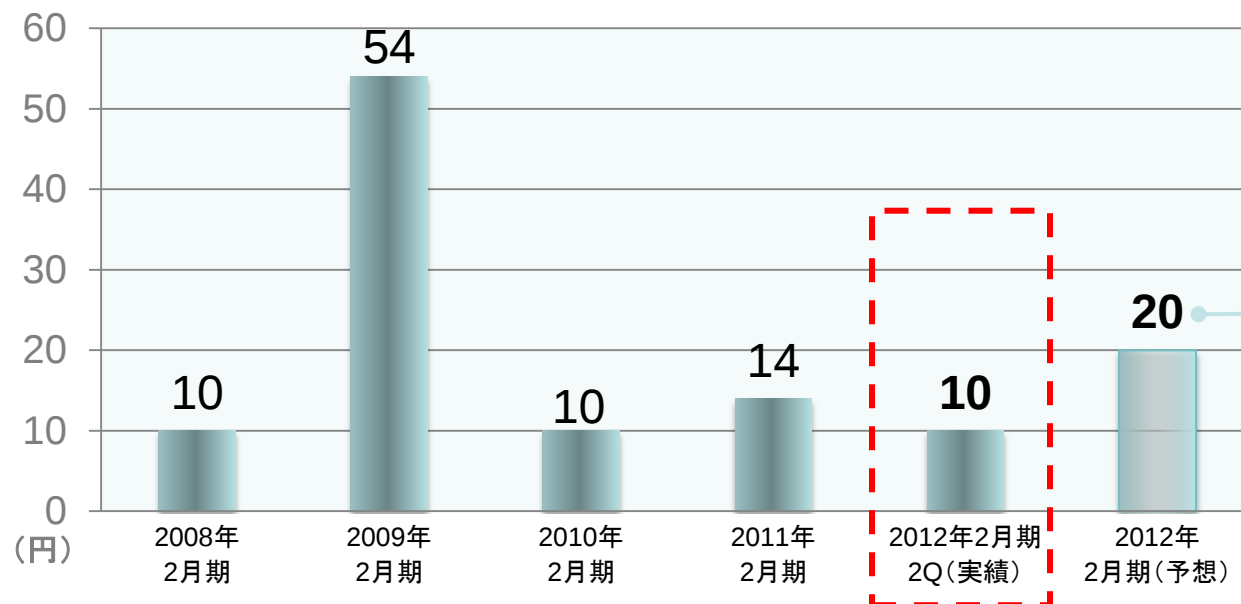


業績予想



※ 2012年2月期(第30期)より連結のため、
2010年、2011年は単体の数値。

為替、経済状況は楽観できない。
堅実な予算達成を目指す。



注)
 平成23年11月1日
 付けで1株につき
 2株の株式分割
 実施により、株式
 分割(1:2)から
 平成24年2月期
 (予想)の1株当
 たり配当金は、5円
 00銭。
 1株当たりの予想
 年間配当金額
 20円00銭の実質
 的な変更はなし。

基準日	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2012年2月期(予想)	10円00銭	10円00銭	20円00銭	29.3%
2012年2月期(実績)	10円00銭	—	—	—
2011年2月期	7円00銭	10円00銭	17円00銭	29.6%
2010年2月期	10円00銭	0円00銭	10円00銭	—%
2009年2月期	—	54円00銭	54円00銭	27.7%
2008年2月期	—	10円00銭	10円00銭	5.2%

Point1

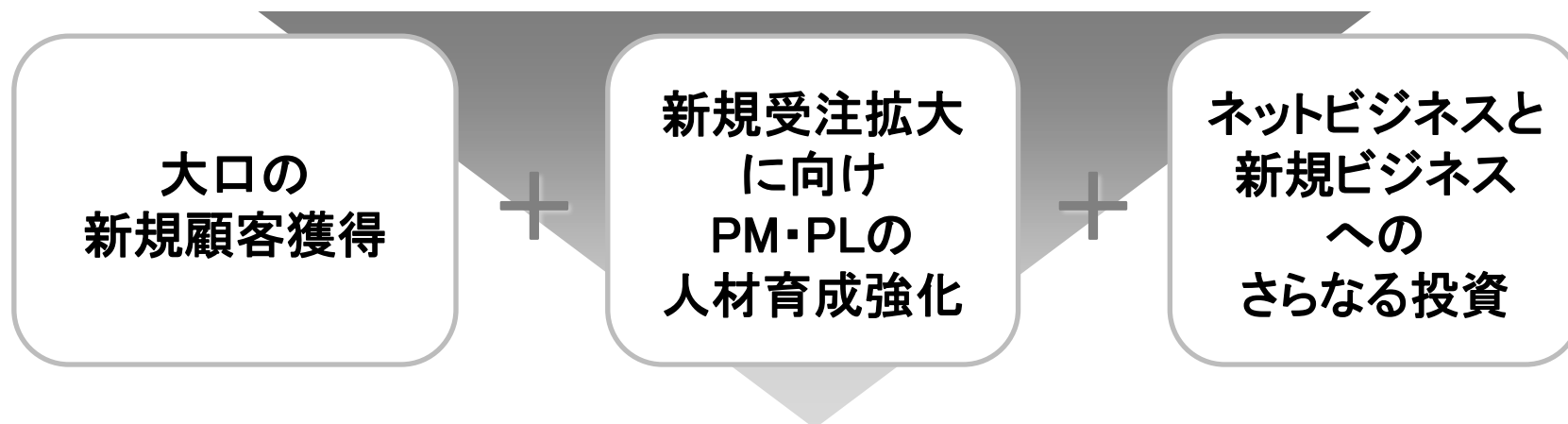
超円高を見据えた体制作り

Point2

新規顧客先での信頼獲得により受注増加を目指す

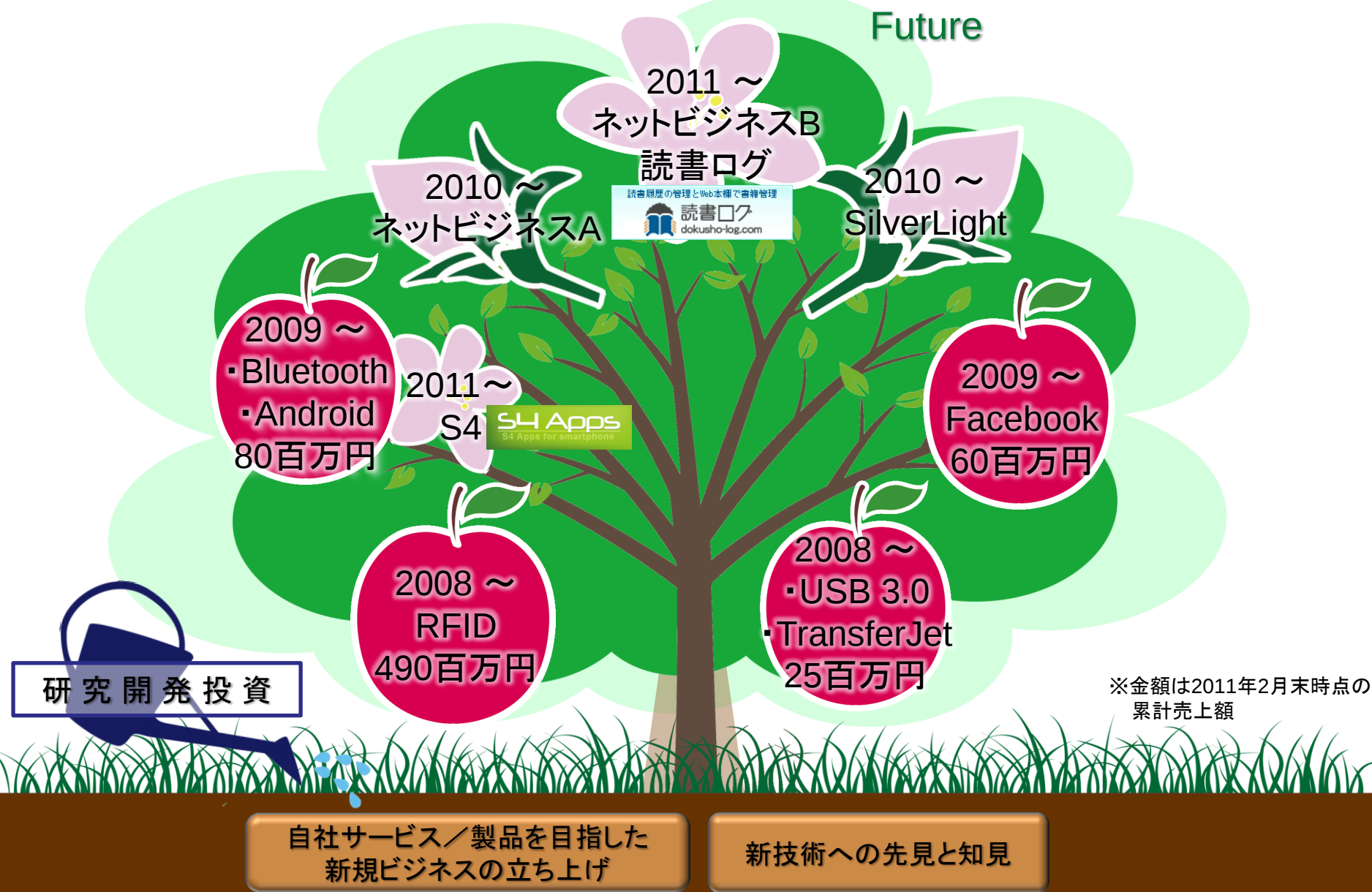
Point3

販路、人材獲得のためのM&Aの検討と採用強化



労働集約型ビジネス強化と別収益の柱を確立

中長期的成長に向けて



役員、社員一同、一丸となって
企業価値向上に邁進してまいりますので、
引き続きご愛顧のほど
よろしくお願い申し上げます。